

## (6) 収蔵展示

収蔵展示では、県民の皆さまからご寄贈いただいた戦時中の品々を中心に年 2 回程度テーマを設けて展示している。あわせて、戦時中の写真や映像資料をとおして、今では見られなくなった風景や風習等について紹介した。

### 「戦争が終わっても」

戦争が終わってもなお厳しい状況に置かれた方々や戦後の暮らしを実物資料や体験談をとおして紹介した。

展示期間：令和元年(2019年)8月2日から12月22日



### 「新着収蔵資料展」

平成 30 年度にご寄贈いただいた品々を紹介した。

展示期間：令和 2 年(2020年)1月8日～7月12日



## (7) その他の展示

### 県庁・県立図書館でのパネル展示

当館で開催した企画展示の内容をコンパクトにまとめたパネル展示を、県庁の新館・本館の3階渡り廊下展示スペースと本館1階県民サロン、県立図書館談話室において開催した。

#### 1) パネル展示「戦時下の村と陸軍飛行場」

会 期	会 場
令和元年6月10日～7月9日	県庁3階渡り廊下
令和元年7月10日～7月31日	県庁1階県民サロン
令和元年10月23日～11月4日	県立図書館談話室

#### 2) パネル展示「沖縄戦1945年ー滋賀県出身の兵士がたどった道ー」

会 期	会 場
令和元年10月1日～10月31日	県庁3階渡り廊下
令和元年11月1日～11月28日	県庁1階県民サロン
令和2年1月7日～1月21日	県立図書館談話室

#### 3) パネル展示「写真週報に見る戦時下の女性」

会 期	会 場
令和2年1月6日～2月6日	県庁3階渡り廊下
令和2年2月7日～2月28日	県庁1階県民サロン

## 2 資料収集保存事業

### (1) 戦争体験聞き取り調査

当館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦時中の体験について聞き取り調査を行っている。聞き取り調査は、開館以前の平成5年度から継続して実施しており、資料寄贈のみの場合も含めて2千人以上の協力を得ている。

体験者の高齢化が進む中、戦闘体験などの第一線での体験談を聞き取る機会が少なくなり、国民学校や銃後と言われた国内での体験が増える傾向にある。

令和元年度の聞き取りに関する調査件数は121件あり、その内延べ39名の方から直接的な体験談の聞き取りを行った。また、資料寄贈に付随した体験等の件数は24件である。この他、資料寄贈のみで体験談の付随しないものは50件、問い合わせ等19件であった。

体験談の内容では、国民学校児童や中等学校生徒としての体験が約4割を占め、次いで軍隊での体験が約3割を占めた。また、銃後における空襲や生活体験が約2割見られた他、夫や父を戦争で亡くした遺族としての体験や従軍看護婦としての体験も若干見られた。

～令和元年度戦争体験聞き取り調査事例～

#### 伏見の高射砲部隊へ現役兵として入隊

村上 義夫さん (94才) = 豊郷町 =

村上義夫さんは、昭和19年(1944年)11月、伏見の中部第7611部隊へ入隊します。この部隊は高射砲部隊であり、飛来する爆撃機を高射砲によって撃ち落とすことが任務でした。村上さんは、入隊前に勤めていた国鉄時代に通信技術を習得していたこともあり、高射砲部隊の通信班に配属されます。入隊後一月ほどして、部隊は本土防衛のための高射砲陣地があった清水へ貨車で移動します。

通信班は、高射砲を撃つための敵機の高度や侵入方向、気象観測データ等の情報を得る重要な役割を担っていました。このため、モールス信号で送受信を行う猛訓練が始まりますが、村上さんにとってはすでに実際に使っていた通信技術であったために、それほど苦労はなかったと言います。しかし同期兵には、全く初めての人もおり、また、召集兵で年配の人もいてかなり苦労し、中には自殺した人もいたということです。そういう中で、村上さんはむしろ教える立場になっていたほど習熟していたので、戦後75年も経った現在でも、相当なスピードで打つことができます。

部隊の陣地は三保の松原の近くにあり、日本本土への爆撃のために編隊を組んで高度800メートルぐらいを飛行する米軍の爆撃機に向けて砲撃します。しかし、撃墜することは難しく、村上さんが目撃した撃墜機は3機ぐらいだったそうです。

村上さんは終戦後間もなく除隊して帰郷しますが、最も印象に残っているのは、出征の日に、母親が神棚の前で声を押し殺して、嗚咽していた姿でした。村上さん自身も生きて帰ることは考えなかったと言います。悲壮な想いの出征だったのでした。

## (2) 収蔵資料の整理・保存

当館では、県民の戦争体験にまつわる資料や戦時の滋賀県に関連する資料 40,000 点以上を所蔵し、その整理、保管を行っている。令和元年度は、新たに 3,156 点の資料を収集した。収集した資料は、ほとんどが県民の皆様からのご寄贈いただいた品物である。

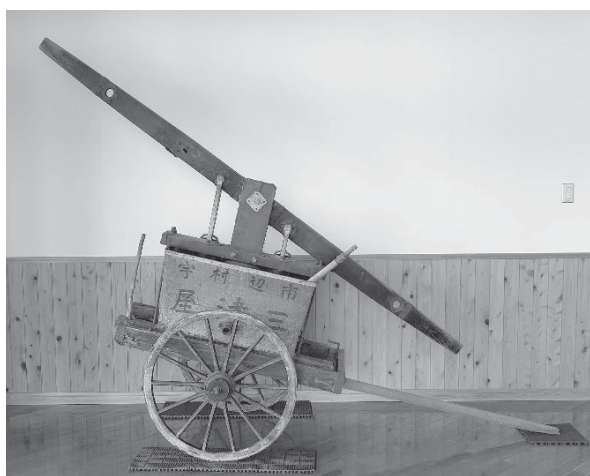
近年、戦争体験者の子や孫世代の方々がご家庭内で継いできた品物を当館へ託されることが多い。ご寄贈者の中には、祖父母の戦争体験を語っていただく方も少なくなく、ご家族で品物を大切に思い継いできたことがわかる。また、地域やご親族の戦争資料を後世に伝えていくために、ご寄贈を促すよう声をかけてくださる方もおられる。これまで県民の皆様が継いできた遺品や戦時にまつわる品々を後世に伝えていくために、適切な保存と収蔵に務める。

～令和元年度受け入れ資料の事例～

### 手押しポンプ車

戦時中に使用されていた手押しポンプ車である。昭和 18 年(1943 年)9 月に新調。荷台の部材、車輪の木製部分は一部朽ちているが、戦時中の資料として大変貴重なものである。

東近江市 三津屋自治会 提供



### 戦時中の村葬をおさめたフィルム

日中戦争で戦死した高岡堅太郎さんの志津村（今の草津市）で執り行われた葬儀をおさめたフィルムである。葬儀に参列した児童、婦人会の姿がみられ、銃後の風習を映した貴重な映像資料である。村葬の弔辞等の遺品も多数ご提供いただいた。

草津市 高岡 由喜晃さん提供





### 3 普及啓発事業

#### (1) 平和学習講座

##### ①「沖縄摩文仁の丘の慰霊塔・碑文が語りかける戦争の記憶」

開催日時

令和元年（2019年）6月16日（日）13:30～15:00

講師および受講者数

福島 栄寿 氏（大谷大学文学部歴史学科 教授）

受講者 45 名

事業概要

沖縄戦最後の激戦地摩文仁の丘には、多くの慰霊塔・碑が建つ。それらに刻まれた碑文の内容は、あまり知られていないものが多い。戦争の記憶が刻まれたそれらの碑文が語りかけてくるものとは何か。忘却されつつある碑文を取り上げながら、解説頂いた。



##### ②「沖縄戦没者慰霊碑が伝えるもの」

開催日時

令和元年（2019年）7月14日（日）13:30～15:00

講師および受講者数

上杉 和央 氏（京都府立大学文学部歴史学科准教授）

受講者 50 名

事業概要

沖縄に400以上ある慰霊碑について、これまで調査してきた内容を講義頂いた。滋賀県を含めた都道府県の慰霊碑はもちろん、地域の人々の作ったものや、学徒の碑についても紹介し、地域や人々のなかでの「慰霊」の多様なあり方を解説頂いた。



#### (2) 大人のための歴史教室

##### 第1回 「はじまりは満州だった」

##### 第2回 「女たちのシベリア抑留」

開催日時

令和元年（2019年）10月26日（土）、11月9日（土）

各回ともに13:30～15:00

講師および受講者数

生田 美智子 氏（大阪大学名誉教授）

第1回 受講者 67 名

第2回 受講者 43 名

事業概要

大阪大学名誉教授の生田美智子氏を講師に迎えて講義頂いた。1945年、若い女たちが旧満州で戦争に巻き込まれ、敗戦によって現地収容生活を送った後、シベリアに抑留されるに至った。極限状況のなか、何を考え生き抜き、引き揚げてきたのか。当事者の小さな声をひろい、旧満州や旧ソ連での現地調査と最近発見されたソ連の公式文書とを交錯させることで、その生の軌跡を解説頂いた。第1部では、ソ連軍占領地満州での生活、第2部ではソ連シベリアにおける抑留生活の実態を考察した。



### (3) 戦争体験を聞く会

(令和元年度から不定期実施。4月、5月、8月13、14日の平和を祈念する日事業にて計4名、3月は8周年事業にて実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。)

4月14日(日) 13時30分～15時00分 研修室  
平尾 泰造 さん(昭和9年生まれ 東近江市在住)  
「少年が見た、戦時下の当時の様子と八日市飛行場」  
参加者 23名



5月12日(日) 13時30分～15時00分 研修室  
北川 麗三 さん(大正12年生まれ 米原市在住)  
「満州国鉱工技術員生の日々と鞍山高射砲隊での体験  
～一番砲手としての任務とB29来襲～」  
参加者 18名



8月13日(火) 14時00分～15時30分 研修室  
岩崎 三之利 さん(昭和5年生まれ 京都市在住)  
「戦争と沖縄 ～兄がたどった道～」  
参加者 38名



8月14日(水) 14時00分～15時30分 研修室  
園田 芳邦 さん(昭和7年生まれ 大津市在住)  
「銃後における学生時代の体験  
～神戸大空襲 東洋レーヨン空襲 通学途中の機銃掃射～」  
参加者 32名



8月15日(木) (台風のため、イベントを中止)  
田中 政之さん(昭和5年生まれ 大津市在住)  
「舞鶴鎮守府志願水兵としての戦時体験」

3月15日(日) (新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止)  
小山田 仙三さん(昭和6年生まれ 甲賀市在住)  
「信楽で手りゅう弾、地雷づくりを経験して」



#### (4) 戦争遺跡見学フィールドワーク（新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止）

「岩脇蒸気機関車避難壕現地見学会」

日時 令和2年（2020年）3月21日（日）10:30～11:30

会場 米原市岩脇 1621 岩脇山

##### 事業概要

岩脇町づくり委員会より藤本伝一氏を講師・ガイドに迎えて、岩脇蒸気機関車避難壕の現地見学会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止した。

#### (5) 平和を祈念する日事業

期間 令和元年（2019年）8月13日（火）～14日（水）※15日（木）は台風10号接近のため中止

参加者 のべ 394名

##### 事業概要

8月13日～14日の期間、【平和を祈念する日事業「未来へのバトン～あなたが『つなぎ人』～】として、様々なプログラムを開催した。

2日間を通して午前中に映画上映会、子ども映画上映会を、午後からは戦争体験を聞く会を行った。映画上映会では、「沖縄戦全記録（NHKスペシャル）」（13日）、「旅立ちの島唄 - 十五の春 -」（14日）を、子ども映画上映会では、アニメ映画「ふたつの胡桃」（13日）、「かんからさんしん」（14日）を上映した。また、戦争体験を聞く会では、京都市在住の岩崎三乃利さん、大津市在住の園田芳邦さんの2名の方々にお越しいただき、当時体験された様々なことについてお話し頂いた。

その他にも、13日には沖縄三線グループ「くくる」によるコンサート（午後）、14日には当館ボランティアによる創作劇「一膳の糧」の発表（午後）を行った。

また、期間中は子どもたちが平和への願いを込めて作ったあんどんを1階ロビーに並べ、ライトアップした。

平和を祈念する日事業のご案内 滋賀県平和記念館

## 未来へのバトン

～あなたが『つなぎ人』～

日時 8月13日(火) 15日(木)

13(火) 11:00-15:30  
14(水) 10:00-15:30  
15(木) 9:45-15:30

入場無料

場所 滋賀県平和記念館

問い合わせ先 滋賀県平和記念館 電話 0749-46-0300 FAX 0749-46-0350

### 戦争体験を聞く会

昨日開催中 14:00開始 2階研修室

13歳 14歳 15歳

参加者の声

「戦争の記憶が遠ざかるとき、戦争がまた私たちに近づく」

### 映画上映会

13(火) 11:00-12:00 2階研修室

14(水) 10:00-12:00 2階研修室

15(木) 9:45-11:55 2階研修室

### 日程スケジュール

8/13(火)

11:00-12:00 映画上映会 沖縄戦全記録

12:00-13:00 子ども映画上映会 アニメ ふたつの胡桃

13:00-13:50 沖縄三線コンサート 出演 / くくる

14:00-15:30 戦争体験を聞く会 講師 / 岩崎三乃利さん

8/14(水)

10:00-12:00 映画上映会 旅立ちの島唄 - 十五の春 -

10:40-12:00 子ども映画上映会 アニメ かんからさんしん

13:00-13:50 当館ボランティアによる創作劇

14:00-15:30 戦争体験を聞く会 講師 / 園田芳邦さん

8/15(木)

9:45-11:55 映画上映会 アニメ 平和を祈念する七色エンジェル

10:30-11:45 子ども映画上映会 アニメ ウツメと少年

11:55-12:10 平和を祈念する七色エンジェル

12:15-13:00 当館ボランティアによる戦争体験

13:00-13:50 ミニコンサート 出演 / 八日市児童合唱団「スマッシュ」

14:00-15:30 戦争体験を聞く会 田中 敬之 さん (昭和5年生まれ) 「無敵艦守り高橋大兵士としての戦争体験」

#### イベントチラシ



沖縄三線コンサート「くくる」



ボランティア・演劇グループ

## (6) 開館8周年記念事業（新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止）

日時 令和2年（2020年）3月15日（日）10:30～16:00

### 事業概要

開館8周年を記念して3月15日に「戦争体験を聞く会」や、当館職員による戦争体験聞き取り調査などの事業活動報告会、また子ども向け事業「へいわの学校あかり」参加者による活動報告会など、様々なプログラムを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止した。



## イベントチラシ

## (7) 館長講座「平和塾・つなぎ人（びと）」

日時 毎月の第2土曜日 14:00～15:30

参加者 延べ31名

### 事業概要

戦争体験者の方々の高齢化がすすむなか、つなぎ人（語り部）の育成は開館当初から当館の重要な役割と位置づけられており、昨年度から試行的に開始した「語り部次世代育成講座」を発展的に解消し、新たに今年度から開始した。

## (8) 映画上映会（毎月1回実施、13時30分～ 研修室）

- 4月28日（日） 映画「鯉昇れ、焦土の空へ」 参加者 55名
- 5月26日（日） 映画「禁じられた遊び」アンコール3位作品 参加者 81名
- 6月23日（日） 映画「グレート・ディベーター」 参加者 60名
- 7月28日（日） 映画「アウシュビッツ行き最終列車」アンコール4位作品 参加者 124名
- 8月25日（日） 映画「夏の庭 The Friends」 参加者 110名
- 9月22日（日） 映画「命のビザ」アンコール5位作品 参加者 110名
- 10月27日（日） NHKスペシャル「戦慄の記録インパール」 参加者 67名
- 11月24日（日） 映画「カメジロー～沖縄の青春～」アンコール6位作品 参加者 74名
- 12月22日（日） 映画「ザ・ハント ナチスに狙われた男」 参加者 94名
- 1月26日（日） NHKドラマ「真珠湾からの帰還 軍神と捕虜第一号」アンコール7位作品 参加者 120名
- 2月23日（日） NHKドラマ「花へんろ特別編 春子の人形」 参加者 106名
- 3月29日（日） 映画「土と兵隊」（新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止）



## (9) 平和の学校あかり

開催日

前期講座：令和元年（2019年）5月26日・6月2日・7月21日・7月24日  
 ・7月28日・7月30日・8月4日・8月9日・8月22日

後期講座：令和元年（2019年）10月14日・11月10日・12月7日  
 ・令和2年（2020年）2月15日・（3月15日中止）

計 13 講座



前期募集案内



後期募集案内

会員数 35名 のべ参加者 225名

事業内容

### ①「平和の学校あかり開校講座【ミニバックヤードツアー、缶バッジづくりなど】（5月26日）」

全14回の講座の開校講座を行った。本事業の説明の後、館内見学やバックヤードツアーを実施した。続いて、ワークシートに取り組みながら館内の展示を回る活動を行い、最後にオリジナル缶バッジづくりも実施した。



バックヤードツアー



ワークシートにチャレンジ

### ②「育てて食べよう戦時食①」（6月2日）」

あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの苗植えを行った後、戦時に食べられた野草を祈念館周辺で探すネイチャービンゴを行った。最後にボランティアの戦時食グループの方々に作っていただいた戦時のおやつを試食した。



サツマイモの苗植え



戦時のおやつの試食

③「教えて戦争体験Ⅰ【戦時の暮らしと学校】」（7月21日）

戦時を国民学校の児童として過ごされた豊原隆夫さんを講師に招き、ご自身の体験をお話ししていただいた。最後には、質疑応答の時間も用意した。



講座のようす

④「演劇で学ぶ戦争」（7月24日）

ボランティアの演劇グループの公演を通して、戦争・平和について考える機会を提供した。



公演のようす

⑤「戦時食調理体験『すいとん』を作って食べよう」（7月28日）

ボランティアの戦時食グループの方々にご協力いただき、戦時食の代表である「すいとん」を調理して試食した。また、戦時の食についての話も聞いた。



すいとんの調理体験



すいとんの試食

⑥「子どもたちの歴史学習講座」（7月30日）

学校の歴史学習で学ぶ戦時の日本のできごとと戦時の滋賀のできごとをつなげて、担当職員が解説し、より深く戦時の滋賀のようすについて学ぶ機会として実施した。

⑦「戦跡めぐり in 岐阜」（8月4日）

戦時のものを展示している岐阜かかみがはら航空宇宙博物館や岐阜市平和資料室、戦争の跡が今も残る乙津寺など岐阜に残る戦争の跡をバスで巡った。